

生徒独自の美化活動が地域間・世代間交流を生み、まちが賑わう

## 環境大臣賞 埼玉県 新座市立新座中学校

江戸時代初期に玉川上水から分水され、野火止台地に暮らす人々の飲料水や生活用水として約 300 年にわたり使用されてきた県指定史跡の「野火止用水」。用水のあるまちづくりを目指す新座市では現在、市を挙げた野火止クリーンキャンペーンを年 1 回開催しており、学校や町内会、地域ボランティア、事業所など 1600 名余りが参加する一大イベントに成長している。

その礎を築いたのが、平成 7 年から独自に野火止用水の環境美化に取り組んできた同校の奉仕委員会の生徒達だ。開始当初の用水は、ペットボトルや空き缶、粗大ゴミが散乱しており、地域住民はゴミ対応に苦慮していた。そんな中、「自分たちでできることをしよう」と生徒の発案で、野火止クリーンキャンペーンがスタート。その翌年には、地域住民やボランティア団体なども加わる形になり、その後、他校も参加し活動エリアがさらに拡大する一斉清掃キャンペーンに発展した。

現在も同校が主体となって進められている活動内容は、多岐にわたる。奉仕委員会が、当日の清掃はもちろん、用水の現地チェックや住民の聞き取りといった事前調査から、参加の呼びかけ、市や住民たちとの打ち合わせなど各方面と意識の共有を図っているのが最大の特徴だ。また、活動終了後は、野火止クリーンキャンペーン感想文集を作成し参加者全員に配布、住民を交えて反省会を開催する。

生徒とともに美化活動に取り組む住民の影山節雄さんは、「用水がきれいになってきたと同時に、用水を通した地域間・世代間交流も生まれている。生徒が率先して美化活動に取り組んでいなければ、ありえなかった光景」と感心しきりだ。同校が独自で始めた美化活動が、まちづくりに波及効果をもたらしている。



### 埼玉県新座市立新座中学校

学校長：船津 三樹男

生徒数：559名(2013年11月末現在)・全15学級

住所：埼玉県新座市野火止 2-4-1

電話：048-478-3668

アクセス：東武東上線「朝霞台駅」よりバス 20分

写真上：県指定史跡の野火止用水、写真上から2番目：クリーンキャンペーンの実施前に地域住民やボランティア団体と打ち合わせしている様子、写真上から3番目：野火止用水に落ちていたペットボトルや空き缶を回収、写真下：集めたゴミを分別する